

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	CRUEL INTENT	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.550	△RG	0.053	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：CRUEL INTENT

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

番

比較対照ボール：2 CRUEL

フレアーの幅 インチ

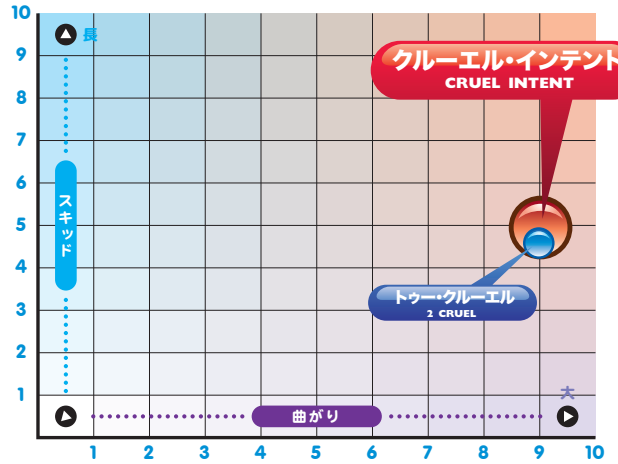
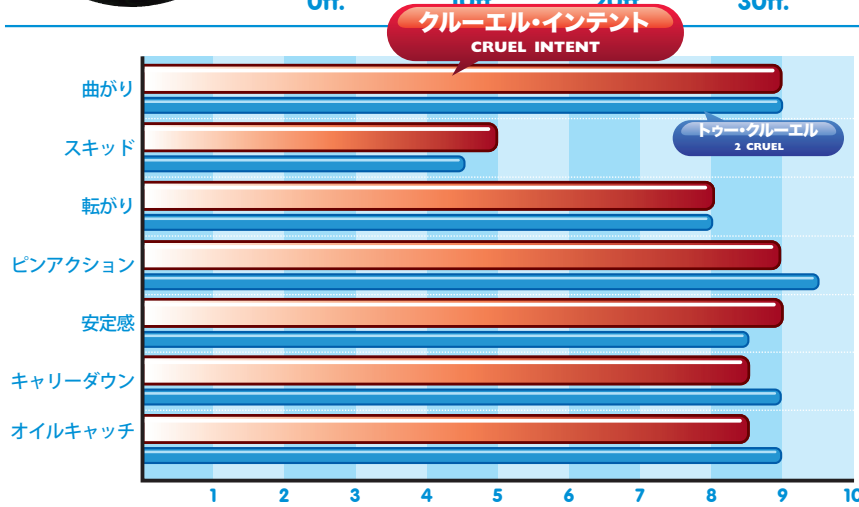
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

MOTIV社のPRIMAL RAGEは全米で脚光を浴び、日本でもそのパフォーマンスは絶大なる評価を得ることができました。当初予定していた販売個数を大きく上回り、再入荷も完売致しました。

このCRUEL INTENTの前作2CRUELやPRIMAL SCREAMで使用されていたWhiplash Reactiveカバーから上位のFusion Pearl Reactiveになったことで、PRIMAL RAGEやこのCRUEL INTENTは今までのMOTIVの代表的なボールモーションから数段レベルアップしたと言っても言い過ぎではありません。

多分PRIMAL RAGEで初めてMOTIV社のボールを使った方は、他社製品と比べ、そのパフォーマンスに満足されていると思います。CRUEL INTENTと2CRUELの比較投球では、双方Sinistar Asymmetricコアで数値も表面加工も一緒ですが、かなりボールモーションが異なります。2CRUELは手前からキャッチを優先させ、起き上がりを見せるリアクション形態から、CRUEL INTENTは”走りとバックエンドのクレ”をコンセプトとしており、バックエンドからピンヒットの終わりまでContinuation(持続性)させることも実現させていますので、メリハリを感じるというか、攻撃的なボールと思いました。見た目2CRUELと同じぐらいの表面加工なのですが、スキッドする割にはオイルに強いというか、滑ることもなく、2CRUELを使うコンディションで先での入射角が出ている事が2CRUELで苦手としていた出し戻しのラインも使え、用途が広がった性能に仕上がっていると感じました。ただ手前のオイルが薄い場合には噛みあがる傾向が出ますので、ミディアムコンディション以上が領域だと思われます。

特記事項

PRIMAL RAGEで全世界にパフォーマンスを魅せ付けたMOTIV社の更なるスペックはクルーエルの最新作のCRUEL INTENT。PRIMAL RAGEよりオイリー向けのスペックとしてお考えください。